

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東住吉
学校名	矢田北小学校
学校長名	清水 健司

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・矢田北小学校では、第6学年 22名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数・理科の平均正答率は、全国・大阪市平均より低い結果であった。全国平均と比べると、国語科は、16.8ポイント、算数科は、16ポイント、理科は、12.1ポイント低い。無回答率については、算数・理科は全国より1~4ポイント高い（悪い）が、国語は、全国よりも0.3ポイント低い（よい）。

国語科「C 読むこと」については、全国・大阪市平均に近く、一定の成果が出ている。しかし、「情報の扱い方に關する事項」に関しては、全国平均より23.6ポイント低く、課題である。

算数科「変化と関係」領域については、全国・大阪市平均に近づいたが、「測定」領域については、全国平均より23.3ポイント低い。

理科「エネルギー」を柱とする領域については、大阪市平均を2.3ポイント上回ったが「生命」を柱とする領域については16.4ポイント下回った。

分布状況をみると、高正答数の割合が低く、逆に低正答数の割合が高い傾向がある。今後も基礎基本の定着とともに、さらなる学力の底上げが必要である。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

「空欄に入る適切な言葉を、資料の中から書き抜く」ことや「話し合いの様子についての内容として適切なもの選択する」ことについては、成果がある。しかし、「言葉と図で説明した文の説明」や「調べたことをもとに詳しく書く」ことには、課題がある。

〔算数〕

「増量したものが、元の何倍かを選ぶ」問題については、全国平均よりも高く成果がある。「調べるために必要な事柄を選ぶ」問題について多くの児童が理解できている。しかし、「変化と関係」分野での「速さに關する問題」や、「数と計算」分野での「除数が小数である場合の除法に関する問題」に弱い傾向がある。

〔理科〕

「結果やまとめから、予想や理由を選ぶ」問題については、全国平均よりも高く成果がある。しかし、「条件を制御した解決の方法を選ぶ」問題では、全国平均とは29.8ポイントの差があり、設定を理解する力に課題がある。

質問調査より

児童質問紙の結果を見ると、「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の肯定的割合が95.2ポイントと高く、本校での研究教科（算数）として研究を進めてきた成果であると考える。

また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の肯定的割合も95.2ポイントと高く、がんばる先生支援（スクールワイドポジティブ行動支援：SWPBS）や放課後学習、基礎学力の向上としての朝の矢田北タイム（計算・漢字）等の教員・サポーターの授業改善や取り組みを進めていった結果であると考える。

しかし、「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか」等のICTの活用について課題がみられる。ICT機器を活用した授業づくりを進めていく必要がある。

今後の取組(アクションプラン)

本校は、今年度の研究テーマを、「学びの楽しさを味わう算数科の指導をめざして～進んで考え、考えたことを表現したいと思う授業づくり～」としている。学習が定着し、算数科の学力を向上させるには、児童が算数に興味をもち、「楽しい」「わかった」という実感をもつことが必要不可欠である。児童自らが課題に向き合い、主体的に考え、身につけたことを活用する中で習得した力がついたことを実感することができるようとする。児童がより理解できる手立てとして、習熟度別少人数授業やT・Tを活用し、反復練習による基礎的・基本的な学力の定着を図る。「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を進め、「考える・発表する」機会を積極的にもち、説明できる力の育成にも力を入れる。また、どの教科でも、授業の「めあて」の明確化をする。さらに、ICT・プログラミング教育の年間計画を見直し、一人一台端末を活用した視覚的教材の工夫や情報を活用し協働しながら解決する力を育んでいきたい。さらに、児童が自信をもって行動できるようスクールワイドポジティブ行動支援（SWPBS）の考え方も並行して取り組む。加えて、「学力向上支援チーム事業（重点支援）」を活用し、「教員の授業力向上」「子ども一人ひとりの課題に応じた指導の充実」を図り、「誰一人取り残さない学力の向上」を目指す。

学校の整備面では、学校司書と連携し、活用しやすい図書館改革を進め、読書や調べ学習がしやすい図書館を目指す。図書館開放や「地域の方による読み聞かせ」「読書通帳」等を活用することで、本に親しみ、調べ学習のしやすい環境づくりを進める。また、「漢字検定」や「子ども新聞」「自主学習ノート」の活用を通して、学習に対する興味・関心を高め、学力の向上につなげていきたい。さらに、学びコラボレーターによる放課後学習や区役所と連携をしている放課後学習塾「なでしこ」も活用し、基礎的・基本的な学力の定着を図っていく。

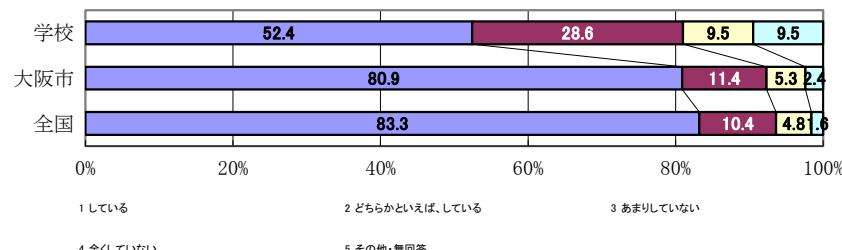
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

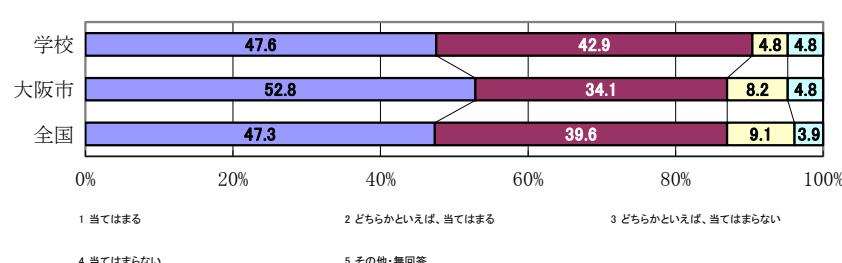
1

朝食を毎日食べていますか



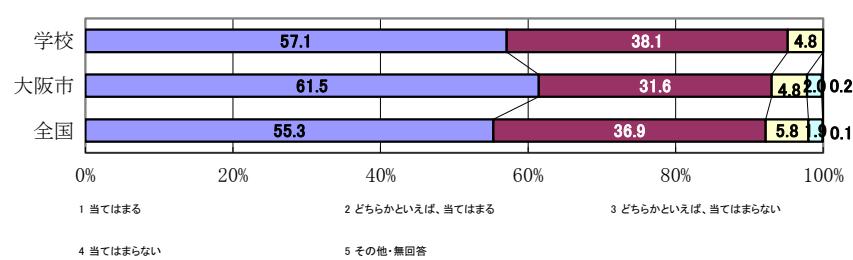
5

自分には、よいところがあると思いますか



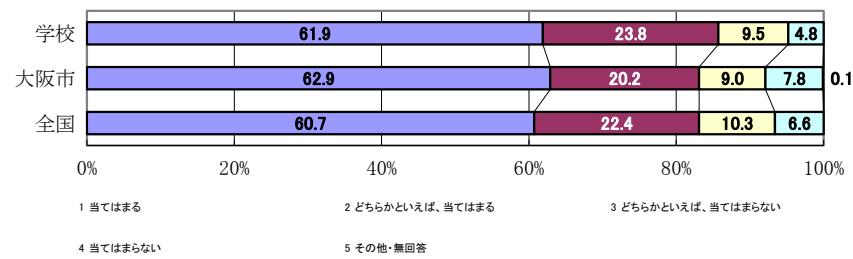
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



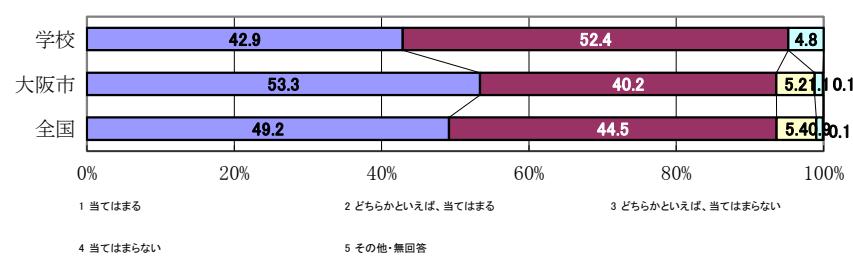
7

将来の夢や目標を持っていますか



8

人が困っているときは、進んで助けていますか



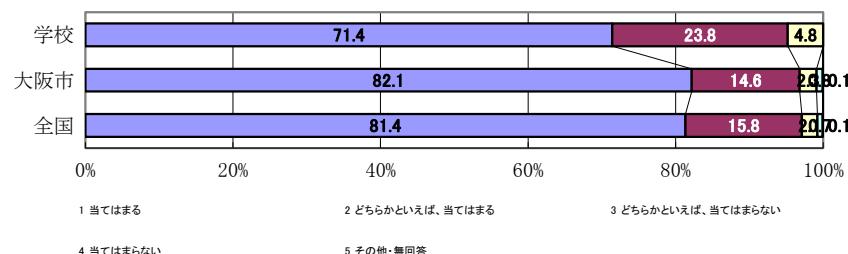
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

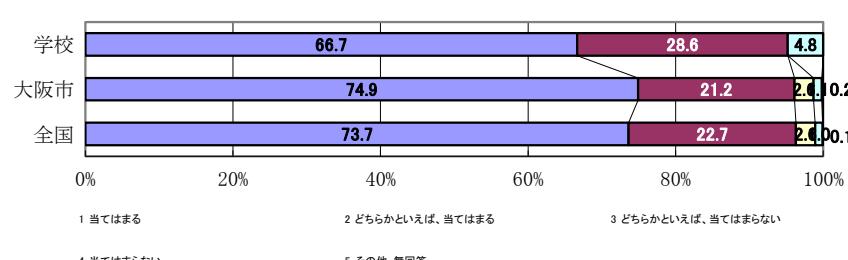
9

いじめはどんな理由があつて
もいけないことだと思いますか



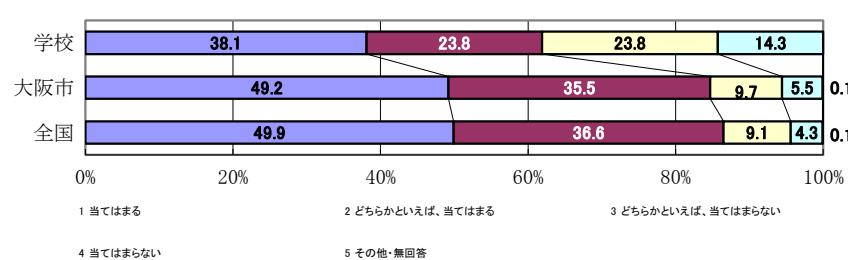
11

人の役に立つ人間になりたい
と思いますか



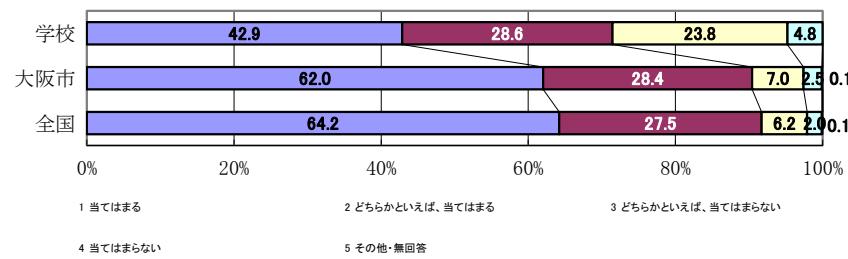
12

学校に行くのは楽しいと思
いますか



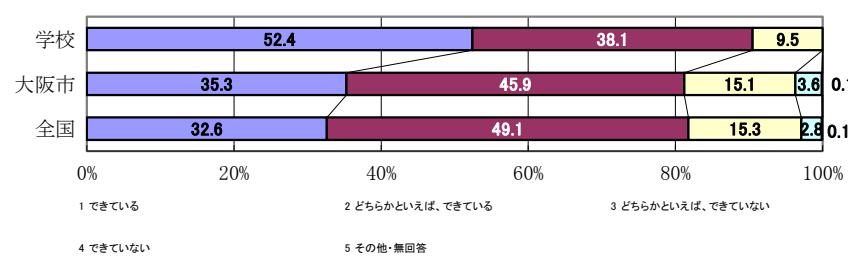
14

友達関係に満足していますか



16

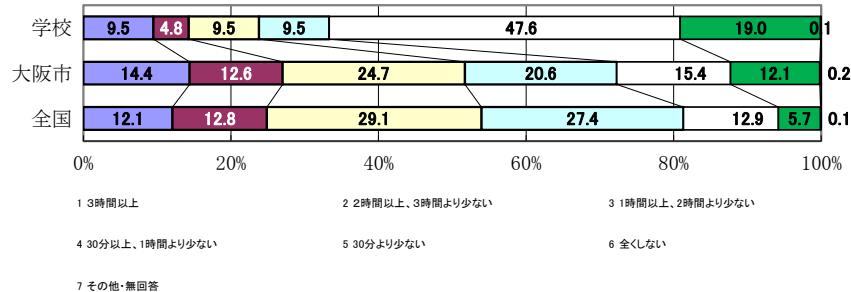
分からぬことやくわしく知りた
いことがあつたときに、自分で
学び方を考え、工夫することは
できていますか



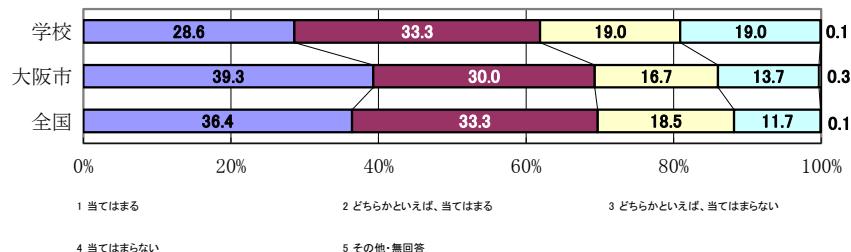
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

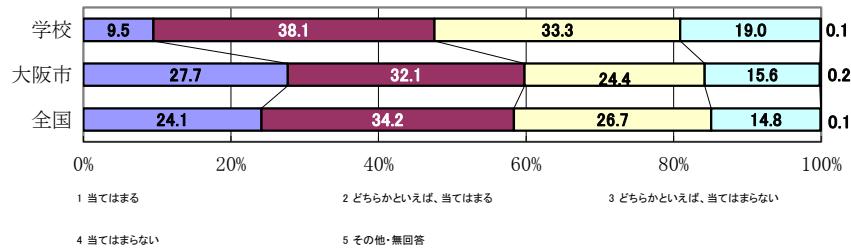
質問番号
質問事項
17
学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含)



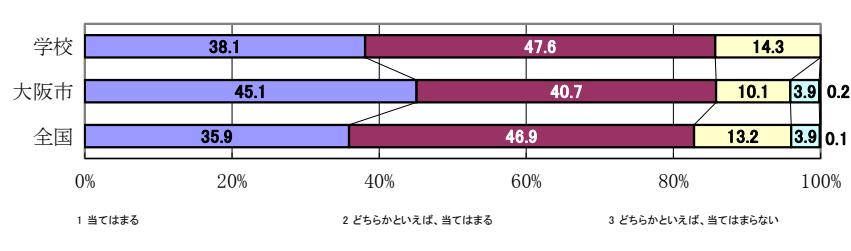
24
読書は好きですか



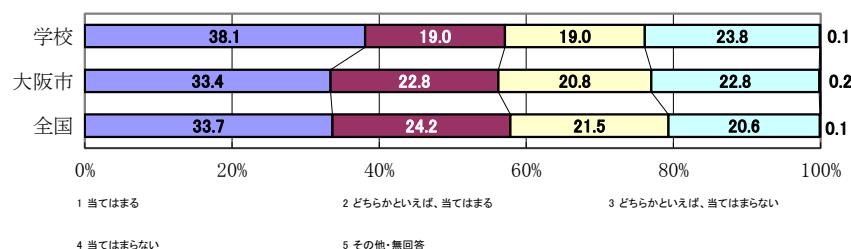
45
国語の勉強は好きですか



46
国語の授業の内容はよく分かれますか



53
算数の勉強は好きですか



学校質問より

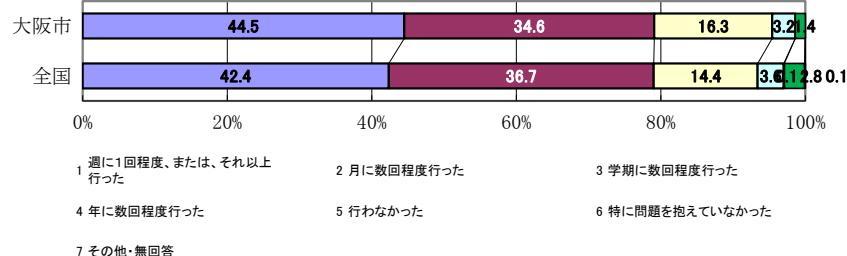
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

11

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

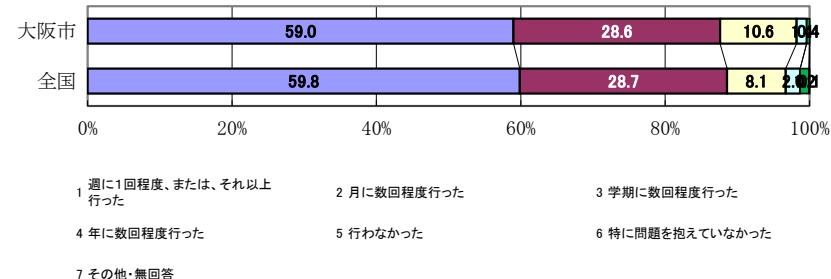
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



12

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

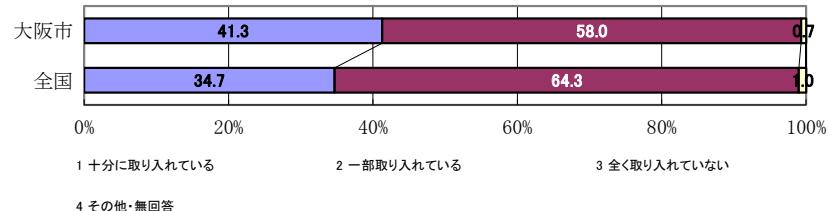
学校 「週に1回程度、または、それ以上行った」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

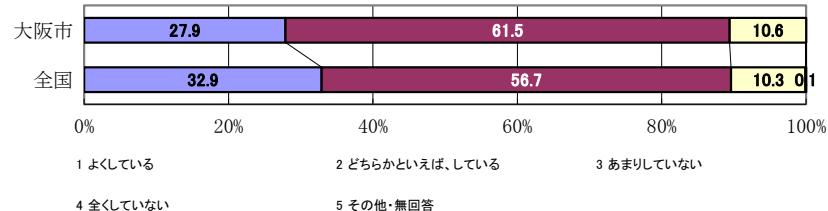
学校 「十分に取り入れている」を選択



19

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

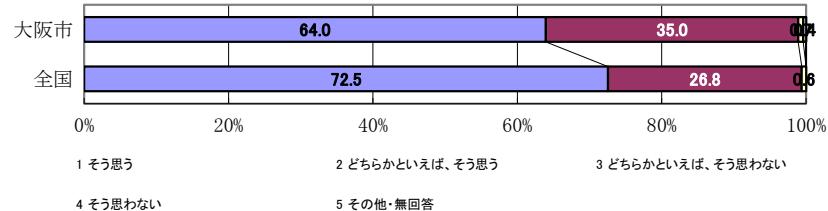
学校 「よくしている」を選択



23

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していると思いますか

学校 「そう思う」を選択



学校質問より

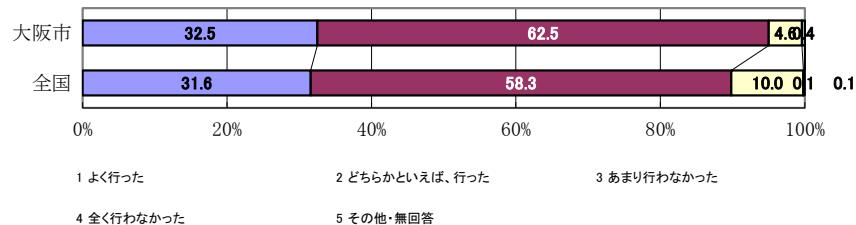
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか？

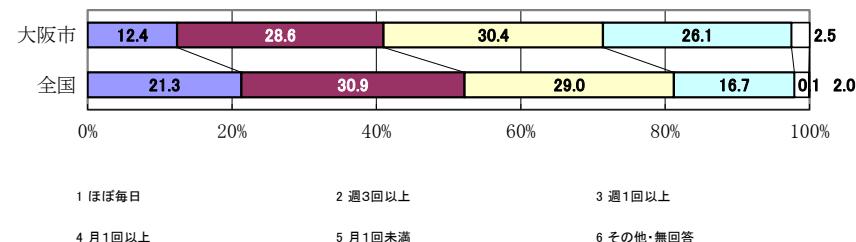
学校 「あまり行わなかった」を選択



60

調査対象学年の児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか？

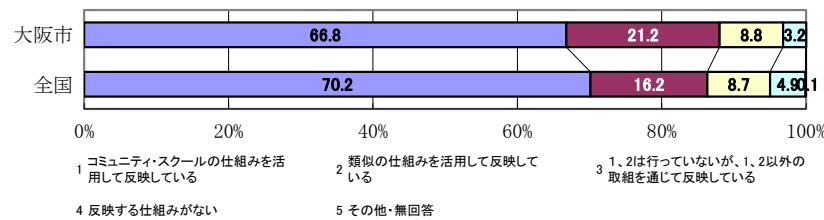
学校 「月1回以上」を選択



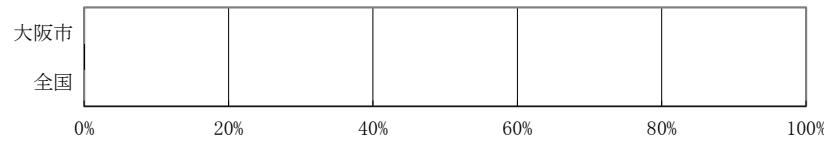
75

コミュニティ・スクール等の仕組みを活用して、保護者や地域住民の意見を学校運営に反映していますか？

学校 「1、2は行っていないが、1、2以外の取組を通じて反映している」を選択



学校 「」を選択



学校 「」を選択

